

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 革新的な合成化学を用いた多糖の機能研究と応用
2. 研究代表者： 河村 奈緒子（岐阜大学 糖鎖生命コア研究所 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、独自の化学合成技術と分子イメージング技術の融合により、細菌固有の多糖を応用した糖鎖ワクチンの候補分子を開発し、さらに神経系シグナルの人為的な制御法を確立し、神経疾患の治療・創薬開発や、効果的な治療法がない細菌感染症に対するワクチン開発を目指す挑戦的な課題である。

フェーズ1で革新的な糖鎖合成法の開発に成功したことにより、当初計画以上に研究が進展した。これにより、天然に存在する多糖の合成、多糖の1分子イメージングなどの成果が得られたことは大いに評価できる。フェーズ2は、薬剤耐性菌や病原性大腸菌などを標的としたより実用を目指した挑戦的な計画となっており、さらなる重要な成果の創出を期待する。

以上